

Press Information

2017年 11 月7日

「EICMA2017(ミラノショー)にて SHOWA EERA™シリーズ第一弾の量産を発表」

～Kawasaki Ninja ZX-10R に量産初採用～



株式会社ショーワ(本社:埼玉県行田市/社長:杉山伸幸)は、イタリア・ミラノで開催される世界最大のモーターサイクルショー「EICMA2017」*において二輪車用電子制御技術『SHOWA EERA™(Electronically Equipped Ride Adjustment) <ショーワ・イーラ>』のシリーズ第一弾、電子制御式減衰力可変ダンパー『SHOWA EERA™ Balance Free Damping Force <ショーワ・イーラ・バランスフリー・ダンピングフォース>』の量産化と、それに続く『SHOWA EERA™』の電子制御技術を発表します。

同時に、昨年発表し、AMA(アメリカモーターサイクル協会)モトクロスレースで磨き上げたオプションパーツ『GPシリーズ A-Kit(エー・キット)』の12月販売を発表します。

*プレスデー:2017年11月7日～8日、一般公開日:11月9日～12日

弊社の二輪車用部品部門は、世界最高峰のモータースポーツ(スーパーバイク世界選手権(以下WSBK)/ダカールラリー/モトクロス世界選手権(以下MXGP))にて培ったノウハウをフィードバックしたフロントフォーク、リヤクッションを開発・生産し、世界の主要二輪メーカーへ供給しています。

本日よりミラノショーで公開の『SHOWA EERA™ Balance Free Damping Force』は、二輪車用ダンパー向けの電子制御式油圧バルブを新開発し、理想に近い操縦性や乗り心地を実現、減衰力発生部に電子制御式油圧バルブを追加することで、既存のコンベンショナルダンパーの高い基本性能を保ちながら電子制御化を実現しています。Kawasaki Ninja ZX-10R 向けに量産化をスタートします。

モトクロス用オプションパーツには、作動性を向上させる低フリクション技術『エメラルドコーティング*1』やテクスチャリング技術『Dimplush™(ディンプラッシュ)*2』といったショーワ独自の技術を投入しています。これらの要素技術と、最新独自技術を取り入れた各種製品、さらにWSBKのチャンピオンマシン、モトクロスマシン、EERA体感用マシンも展示し、「Performance. Pleasure. Progress.」をテーマに紹介しています。今後とも、弊社では独自技術の開発をベースに、さらに充実した製品を積極的に展開してまいります。

<本件に関するEICMA会場でのお問い合わせ先>

株式会社ショーワ

管理本部 総務部 総務・法務課 荒川克利/TEL: +81-80-3556-9082

株式会社オズマピーアール 松本/TEL: +81-80-5896-5916 E-mail: showapr@ozma.co.jp

*1『エメラルドコーティング』

世界初となるショーワ独自の薄膜成形技術。エメラルドカラーに発色するチタン系多層コーティング。(2016年EICMAにて発表)

*2『Dimplush™(ディンプラッシュ)』

摺動面の微細な幾何形状によって潤滑状態を改善するというテクスチャリング技術。(2016年EICMAにて発表)

出展テーマ

「Performance. Pleasure. Progress.」

当社では、ユーザーの皆様に「気持ち良く楽しい移動」を提供するため、一貫して性能へのこだわりを持って技術開発をしています。本年の出展においても「Performance(性能).Pleasure(楽しさ).Progress(進化).」をテーマに、ショーワ製品の性能コンセプト「究極の気持ち良さ&楽しさ」を提供する製品を紹介いたします。

製品・技術概要

Kawasaki Ninja ZX-10R 用『SHOWA EERA™ Balance Free Damping Force』

<製品特徴>

二輪車専用 電子制御式油圧バルブを新開発し、理想に近い操縦性や乗り心地を実現。

減衰力発生部に電子制御式油圧バルブを追加し、既存のコンベンショナルダンパーの高い基本性能を保ちながら電子制御化を実現しています。ストロークセンサー内蔵で走行状況を的確に把握、車体の小型・軽量化に貢献するとともに、ストロークセンサーからの情報を元にピストンスピードを計算するため、応答性がよく、ロードモードでの切り返しや乗り心地の領域でもライダーの違和感を解消します。

さらにショーワは制御用 ECU やその制御に用いるロジックやソフトウェアも独自開発しています。

*詳細は別途製品資料をご参照ください

『GP シリーズ A-Kit(エー・キット) <Honda CRF250R/450R 用>』

AMA (アメリカモーターサイクル協会)モトクロスレースで使用されているサスペンション Kit を発売。

<製品特徴>

ショーワの最先端技術『Dimplush™』『エメラルドコーティング』を投入。

市販モデルの「CRF250R/450R」にはショーワのサスペンションが採用されており、レースで立証された技術が市販車へフィードバックされ、走行性能向上を実現しています。

今回発売するサスペンションは AMA のモトクロスレースで使用されているサスペンション Kit となります。

フロントフォークは、インナーチューブ径はφ49mmの大径パイプを採用。インナーチューブには『エメラルドコーティング』を、アウターチューブ内周面には『Dimplush™』を施し、ダンピング特性も Kit 専用となっています。また、アクスルホルダーの形状を最適化しデザイン性を高め、併せて軽量化も実現しています。

リヤクッションは、ロッド径を市販モデルのφ16mmからφ18mmに大径化、ストロークに伴うオイルの移動量を多くして減衰力の応答性を高めています。そのロッドには『エメラルドコーティング』が施されており、作動性を向上させました。また外観商品性を高めるため、プレミアムレッドのスプリング色を採用。ダンパーケースには2ピース構造を採用しており、この構造は軽量化にも寄与しています。

<製品展開>

- 2017年12月発売。
- 販売代理店:[欧州]イギリス・K-Tech Suspension Ltd.社、スペイン・Genuine Parts Europe 社
[日本・アジア]SPK 株式会社

その他ブース展示マシン

- 『SHOWA EERA™』体感用車両 (Honda CRF1000L Africa Twin)
タブレットと車体との無線接続による遠隔操作でフロントフォーク、リヤクッションの減衰力及び、リヤクッションの車高を調整
- 『BFF™』『BFRC-lite™』搭載 「Kawasaki Ninja ZX-10R」(2017WSBK 優勝)
- 『GP シリーズ A-Kit』 搭載 「Honda CFR250R」